

K-510

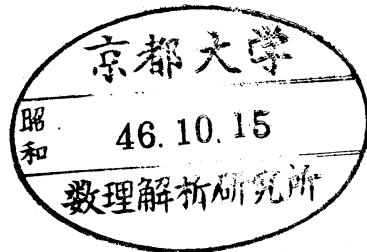
数理解析研究所講究録 126

超函数と層 C をめぐって

(代数解析学序論)

——名古屋大学数学教室における集中講義——

佐藤 幹夫



京都大学数理解析研究所

1971年10月

超函数と層Cをめぐって

(代数解析学序論)

— 名古屋大学数学教室における集中講義 —

1971年5月24日 ~ 5月28日

佐藤 幹夫 述

浪川 幸彦 記

目 次

5月24日	1
5月25日	19
5月27日	32
5月28日	66
5月28日 (Seminar)	91
文 献	109

この講義録の内容については、これまでいろいろの機会に或いは断片的に、或いは多少別の形で繰返し述べて来た所でありましたが、述者の怠惰のためこれをまとめて記録発表したことはこれまでありませんでした。今回の名古屋大学における講義に際して、同数学教室の浪川幸彦氏は乱雑な述者の話を忠実に記録され、多大の労を払ってこれを整理し原稿を完成されました。ここに記して同氏に深謝する次第です。述者に講義の機を与えおつ熱心に聴いて下さった名大数学教室の諸兄にも併せて御礼申し上げます。なお、この講義は準備不足のためもあって、超函数論の講義としては全然不備なものであることは読者の見られる通りであります。これについては柏原氏の完璧な記述(数学の歩み・15巻1号)をはじめ、巻末に挙げてある小松氏、河合氏、森本氏、Schapira 氏らの論著を参照して下さい。ごく最近の発展については、AMS Summer Inst. (Berkeley, 1971) における述者らの講演 (Technical Report-RIMS, 近刊) をごらん下さい。 M. S.